

議会だより

補正予算・条例制定案件……………	2
町政のそこが聞きたい……………	3
一般質問……………	4～7
予算審査特別委員会……………	8～9
委員会などの動き……………	10
議員の出欠状況……………	11



第70回 標津町立標津中学校卒業式 (A組) 平成29年3月15日



第70回 標津町立川北中学校卒業式 平成29年3月15日



第70回 標津町立標津中学校卒業式 (B組) 平成29年3月15日

標津中学校校章

- 制定 昭和22年5月
- 図案 同校当時教諭 中村 浩氏



〈校章のもつ意味〉

- 全体的に、雪の結晶をもって北国を表す。
- 部分的には、
 - 【水をデザイン化】海を臨む町である。
 - 【山をデザイン化】ベキシリ山を表す。ベキシリ山の麓の中学校である。
 - 【ペンをデザイン化】学問を象徴化したものである。

川北中学校校章

- 制定 昭和22年6月10日
- 図案 同校初代校長 山下 佑平氏



〈校章の由来〉

終戦直後の食料難のころ、馬鈴薯が住民の主食としての位置をしめていたため、馬鈴薯中心の農業が営まれていたことと、馬鈴薯は冷害に強い作物であることから、馬鈴薯のように強くたくましい実りのある生徒を目指して馬鈴薯の葉で生徒をつんだ校章が生まれた。

2017巣立ち ～開校70周年に巣立つ 65対の翼～

- 昭和22年5月1日 新制中学校として、標津村立標津中学校、標津村立川北中学校の両校開校
- 平成29年3月15日 開校70周年の春、標津中学校45名 (男子21名・女子24名)、川北中学校20名 (男子5名・女子15名) 合計65名が学窓を巣立ちました

発行 / 北海道標津町議会

編集 / 広報特別委員会

お知らせ

金田照男議員から、平成29年3月31日付けで議員辞職願が提出され、同日付けで議長が辞職を許可しました。



金田議員が辞職

意見書

●日ロ両国における相互信頼関係の構築等を求める意見書
提出者

木下 孝 議員

同意案件

固定資産評価 審査委員会委員

標津町北6条西2丁目
西山 美紀子 氏

〈任期〉

平成29年6月1日～
平成32年5月31日

条例制定・改正

●「任期付職員の採用等に関する条例制定」や「町税条例等の一部改正」など14件の条例制定・改正を原案どおりに可決しました。

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
ふるさと応援基金積立金	7,337	返礼品代金、送料及びポータルサイト手数料、寄附見込積立金追加
子ども・子育て基金積立金	50,000	政策積立
病院会計繰出金	37,274	収益的収支の入院収益及び介護給付収入の減による繰出金
酪肉経営振興対策基金	50,000	政策積立
道営草地整備改良事業負担金	6,910	昨年8月の暴風雨による草地更新の遅れ、国のTPP関連対策等予算付けに係る事業調整による負担金の増額
トド山地区公共牧場整備事業補助金	1,983	トド山公共牧場に係る受益者負担金の2分の1補助
畜産担い手育成総合整備事業	14,528	昨年8月の暴風雨による草地更新の遅れ、国のTPP関連対策による予算付けによる繰越事業費調整、その他標津西部地区TMRセンターの入札残及び草地更新の中止による平成28年度実施分の調整
秋サケ施設整備特別対策事業(標津町漁業振興特別対策事業)	18,467	[秋サケ不漁対策支援] 根室管内さけます事業協会の平成28年度施設整備に係る漁獲割合費(さけます漁獲金額の1%)を漁協に補助し、漁業者の負担軽減を図る。
北海道水産産業振興構造改善事業(ホタテ養殖作業施設整備事業)	314,797	漁協が実施するホタテ養殖作業施設の建設に係る補助金
漁業近代化資金(災害口)保証料等補給事業	850	平成27年度の秋サケ不漁対策の支援措置として漁業近代化資金(災害口)に対し、10年間の保証料及び5年間の利子補給
水産振興基金積立金	101,000	指定寄附1件(1,000千円)及び政策積立(100,000千円)
除雪及び排雪経費	12,000	除雪委託料年度内見込みによる増額
河川等災害復旧工事	2,095	崎無異川左岸の災害復旧工事の追加経費
川北小学校アスベスト改修事業	11,456	川北小学校煙突断熱材のアスベスト除去及び復旧工事費
公有財産購入費	2,343	旧森林管理署宿舍及びその用地の取得費

一般質問

町政のそこが聞きたい

平成29年第1回定例会(3月9～16日)で4議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員 ————— 4ページ

● 子育て困窮世帯の就学援助は万全か？

6人に1人の
子どもが
就学援助

教育資金

就学援助とは？

対象者

生活保護を受けている、失業中である、収入が少ないなど、経済的に困っている方。
※認定基準に基づきます。

受けられる援助費

▶学用品費 ▶修学旅行費 ▶体育実技用品費
▶給食費 ▶クラブ活動費 ▶生徒会費
▶PTA会費
※支給額は教育委員会が定める額となります。

町教育委員会では、小・中学校の児童生徒の学校生活のために必要な資金を援助しています。

● 周知方法と支援手続きに細心の配慮を！

高橋 幹雄 議員 ————— 5ページ

● 町臨時職員の待遇改善を！ 参考 標津町臨時職員の賃金等(平成28年度)

区分	職種	賃金
時給事務職員	一般事務、学校事務等	800円/時
	児童館指導員等	880円/時
日給事務職員	一般事務、調理員	6,400円/日
	保育士、教諭	7,040円/日

区分	職種	賃金
月給職員	給食センター、保育園調理員	123,200～124,100円/月
	嘱託園長、指導主幹	150,000円/月
	土木技師、水道技師ほか	180,000～254,000円/月

備考 ●社会保険、雇用保険、労災加入・通勤手当支給
●年次有給休暇、忌引休暇、病気休暇は人事院規則に基づき付与

町職員の約1/3が臨時職員

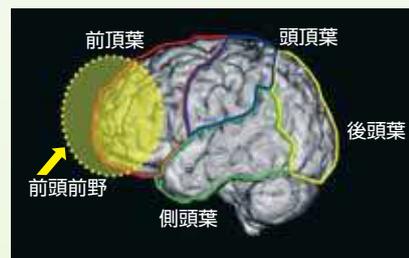
吉田 智 議員 ————— 6ページ

● メディアの適切な使用法を 学校・家庭・地域に対し 指導・啓発すべき

不適切なスマホの使用
2時間の学習効果が消える！



前頭前野：他の動物の脳に比べて、人間に於いて最も発達した部位
『人間らしさを保つ為の脳の最高中枢』



脳の構造

石橋 昌幸 議員 ————— 7ページ

● 在宅介護・地域交通の改善及び免許返納者の対応は？



町の高齢者支援事業

1. 高齢者無料バス乗車券(24枚)

対象者 町内に居住する満70歳以上の方

2. 高齢者等通院ハイヤー助成券(初乗り1区間分12枚)

対象者 非課税世帯の世帯員で運転免許証を持っていない方のうち、次の要件を満たす方。

- ▶高齢者世帯(独居、老夫婦、全員が高齢)の世帯員で70歳以上の方
- ▶身体障がい者手帳1・2級を所持している方
- ▶生活保護受給世帯の60歳以上の方

子育て困窮世帯の 就学援助は万全か？

※**子どもの権利条約**に基づき
生きる権利、学ぶ権利を守る



小川 悠治 議員

問 鮭漁不振が続き、漁業者のみならず関連産業に深刻な影響が出ている。このことで、関連産業に従事する人の中には、減収で家計が圧迫され、子育てや教育環境に深刻な影響が出ている恐れがある。特に、子育て環境が厳しいひとり親世帯を危惧する。

厚労省の「平成25年国民生活基礎調査」によると、子どもの相対的貧困率は16・3%に達し、6人に1人が貧困の状態にあることが明らかになった。ひとり親世帯では、その割合が5割以上になっている。

子どもの貧困

関連書籍

【編著】秋田貴代美・小西 祐馬 菅原ますみ かもがわ出版

【著者】沖縄大学名誉教授 加藤 彰彦 創英社／三省堂書店

出典 **日本教育新聞**

平成28年11月7日・平成29年2月20日号 より抜粋



小学校の入学式の様子



小学校の授業風景

※子どもの権利条約：子どもの基本的人権を国際的に保障する為に、1989年に国連で採択された条約。子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保する為に必要となる具体的な事項を規定。日本は、1994年3月に国会で批准。正式名称は、『児童の権利に関する条約』

6人に1人の子どもが就学援助

援助の認定状況は、46世帯の児童・生徒73名である。全児童・生徒の16・3%である。その内、ひとり親世帯の割合は7割となつて

いる。今後共、『子どもの権利条約』に基づき、子どもの生きる権利、学ぶ権利を守る。

周知方法と支援手続きに 細心の配慮を！

幼児から義務教育まで 手厚い支援を進めている

問 国は市町村に「真に就学援助が必要な者には、申請が無くても援助するよう」求めている。入学時の説明に

限らず、子どもの身近にいる先生の常日頃の観察と行政の連携を密にして対応して欲しい。支援に当たっては、

保護者や児童の心に細心の注意を払い、対応に万全を期して欲しい。

答 **教育長** 支援については常に目配りし、心のこもった対応をしたい。

町では、義務教育上の保護認定支援以外にも目に見えない全体的支援もしている。また、幼児教育の重要性から、義務教育に至るまでの保育園・幼稚園の無料化など手厚く進めている。

与えなければならぬと定めている。要保護・準要保護の認定状況を伺いたい。

答 教育長

子どもの学ぶ環境を整えることを基本に、身体的、精神的なものも含めて、細心の注意を払いながら進めている。

※町臨時職員の待遇改善を！

正職員化はできないが
処遇改善を検討

問 今、日本社会は格差と貧困が拡大し、生き辛い世の中になっている。その要因は、グローバル経済にあると言われている。

「一部の富裕層に富が集中し、中間層が痩せ細って貧困が増大する」。多くの国民にとって、希望の持たない社会になっている。不安定な非正規雇用労働者の割合が37.5%に達し、中でも若者や女性の比率が高くなっている。

当町職員においては、3人に1人が臨時職員となっているが、待遇が良いとは言えない。（3頁参考参照）改善が必要である。

臨時職員の中には、継続して何年も勤めている人も多くいる。経験を積む事により、仕事に対する知識も深まり、技能も向上する。生きる希望と仕事に対する責任を果すには、それに見合った評価と待遇が欠かせない。

答 標津町の全職員数は現在、239名。その内、正職員数は159名。臨時職員数は80名となっている。

※町臨時職員は、3頁参考の通り、時給事務職員、日給事務職員、月給職員の3通りに区分される。

他町との比較は、置かれている事情の違いや雇用形態の違いから難しい。日給パートの方で（保育士、看護師に多い）、80名中60名が家庭の事情等から、本人の希望によりパートで働いている。

残る20名に関しては、長く勤務しており、今後も長く勤めたいと考えている。

中には家庭を支えている方もおり、「少しでも賃金を上げて欲しい。できれば正職員にして欲しい。」と願っている。

しかしながら、臨時職員を正職員に採用するには、採用管理・定数管理・雇用管理・昇任管理等の面から難しい問題がある。

例えば、正職員となると、どこの部署でも対応可能か否か。能力

平成29年度 標津町臨時職員数

予算科目	人数(人)	摘要(主なもの)
総務費	12	事務補助
民生費	9	指導員
農林水産業費	3	結婚活動支援専門員
その他(町長部局)	2	地域おこし協力隊
病院会計	23	看護師
その他特別会計	2	水道技師 保健師
教育費	33	嘱託園長 保育教諭 調理員 指導員
臨時職員合計	84	職員合計 256人
正職員合計	172	

臨時職員の割合
84÷256=0.328≒1/3
3人に1人が臨時職員

の実証は如何様にするか。又、Aさんを採用、Bさんは不採用とできるか。加えて、長く臨時職員として勤務すると正職員に採用される「勤め得」は、町民の理解を得られない。

現在、戦力となっている臨時職員の処遇に

関して、昨年より『叩き台』（原案）を策定中である。早急なる提案とはならないが、福利厚生を含めての今後の検討の中で、4月1日に遡っての実施を考慮したい。



高橋 幹雄 議員



参考資料3



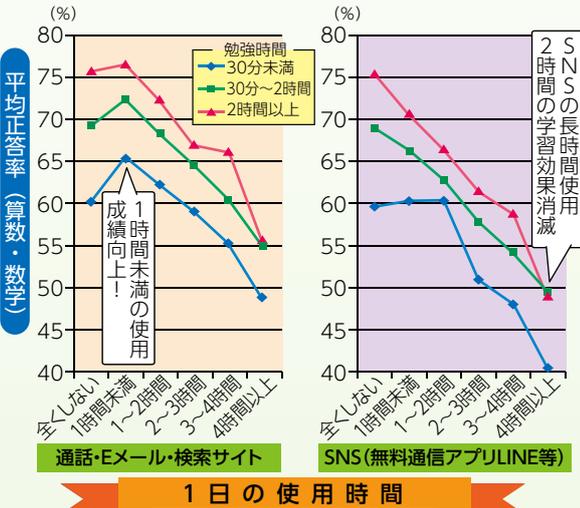
【監修者】 東北大学加齢医学研究所教授、医学博士
川島 隆太(かわしま りゅうた)
【著者】 東北大学加齢医学研究所助教、教育学博士
横田 務(よこた すすむ)

仙台市の市立小学校・中学校の全児童・生徒約7万人×7年間の調査・分析結果

出典 参考資料4、5 共に
参考資料3 の書籍、一部加筆

参考資料4

スマートフォンの使用時間と成績の関係



参考資料5

どのメディアも長時間使用により、脳の認知機能や意欲、運動能力と関係する領域が変化し、健全な脳の発達を阻害する!!



前頭前野の働き (脳司令塔)
 ・考える ・覚える ・学ぶ
 ・集中する ・仲良くする ・我慢する
 ・コミュニケーションを計る 等

※コミュニティ・スクール(学校運営協議会):地域の皆様が教育に関心を持ち、こども園や小学校、中学校の運営に関わってもらう仕組みとして、標津地区と川北地区、それぞれに学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置するものであり、子どもたちへのアドバイス等の協力を得ながら地域と共に歩む学校づくりを進めるもの。

出典 標津町教育委員会

出典 参考資料1、2 共に 現代用語の基礎知識(2017)

参考資料1

▼メディア(Media) コミュニケーションを「媒(なかだち)」する事物のこと。事物を「媒体(メディア)」、その働きを「媒介(メディアエーション)」とも整理できる。さらに「媒介」は、情報の「伝達」と感情や思想の「共有(交感)」という二つの働きに分けられる。現代は前者の意味が優勢で、メディアにはより速く、大量に、安価に、簡単に情報伝達できることが求められる。しかし書き文字からLINEまで、さらには衣服や建築物まで、あらゆるメディアには情報の伝達手段と感情や思想の共有手段としての働きがより合わさっている。それらがうまく働けば人々を結び付けるが、うまく働かなければ人々を引き裂きもする。メディアは、情報技術とさまざまな社会的要因が複合的に関わる中で社会的に生成する。かつては大きな機体であるマスメディアから情報を受け取るだけだった人々が、現在は自らSNSなどを用いて表現、発信をしたことがある。メディアに注目した学際的な研究がメディア論。

参考資料2

▼SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス) Social Networking Service) 会員制のサイト上で写真や文章などを公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。ミクシィ(MIX)やフェイスブック(Facebook)が代名詞といえるサービスだったが、ツイッター(Twitter)やLINE(ライン)、各ブログサービスでも「自身のページを編集できる」他の会員との交流が可能などSNSとしての機能が含まれているためSNSと称される。さらに写真、動画共有アプリ、通話アプリ、ゲームアプリなどを含め、多くのサービスがSNSに似た機能を備えるか、もしくは別のSNSに投稿できるなどの連携が可能になっている。



吉田 智 議員

不適切なスマホ(スマートフォン)の使用
2時間の学習効果が消える!

メディア 参考資料1
学校・家庭・地域に対し 指導・啓発すべき

問 昨今の、児童・生徒を取り巻くメディア環境は、劇的に変化して来てる。特にスマホの普及は急速であり、この普及率は、子供世代に顕著である。 当町の児童・生徒においても自己所有率は高く、通話は元より、Eメール、検索サイト、 SNSの長時間使用 2時間の学習効果消滅 更にはSNS(LINE E等) 参考資料2 の使用できる環境下に置かれている。 東北大の研究グループによる、スマホ、SNSの不適切な使用による脳への影響を、実証・解析した驚愕のデータ。 参考資料3~5 未来を担う子供達

答 教育長三者に対し更なる注意を喚起し、能動的にICT教育の推進を図ると共に、教育行政方針に掲げた「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置の実現を目指して行く。

を慮り、メディアの適切な使用法を、学校・家庭・地域に対し、指導・啓発をすべき。 教育長の所信を質す。

在宅介護・地域交通の改善

及び免許返納者の対応は？

高齢者支援 町職員のきめ細かな 対応が問われている

問 高齢者が高齢者を介護する。今増えているのは認知症の人が認知症の人を介護する現実がある。介護に直面した際、介護サービスを活用について、どんな時に使えばいいのか、どのように申請すればいいのか、分らなければいいのか、分らざらう。行政は、もっと分かりやすく説明すべき。

高齢者等通院ハイヤー助成事業、高齢者無料バス助成事業があ



石橋 昌幸 議員

る。どれも利便性の高い制度と思うが、ある程度年数が経って見ると、利用状況がほとんど変っていない。利用する側に立って見る必要があるし、もっと高齢者（弱者）の生活路線をPRすべき。

運転免許返納については、交通網が乏しい標準町では、マイカーが『生活の足』という現実がある。高齢化が進む中、代替手段の確保が大きな課題。町としても前向きに考えるべき。改善・対応は？

答 団塊の世代が、まもなく後期高齢者に入ってくるが、その備



町営無料バス（市街循環線）

えるが、特に福祉の面では、きめ細さが必要。

地域交通の通院ハイヤーや無料バスなどを見直し、改善する事は指摘の通りであるが、町内のグループホームやサービス付高齢者住宅が満床、病院の長期入院者の増加などにより40名以上が施設に入居している状況。その分が利用者の減少につながっている。その中で現状維持と言うことは、利用率は高いと思うが、詳しく分析しながら対応していく。

運転免許証の返納は、高齢者にとって本当に辛い事。今後、認知症検査などにより、かなりの返納しなければならぬ人が増えることが予想される。道内自治体では具体的に

対応しているところもあると聞いている。いずれにしても行政だけでは立ちいかないが、町職員が向いて相談に応じていく。標準町では独自に地域福祉計画を策定したが策定がゴールではない。



「安心サポートセンター」の支援の様子

昨年12月12日、「安心サポートセンター」ができた。指導力・行動力のある組織だが、これも立ち上げたのがゴールではなくスタートと考えている。町としても支援を強化する。

予算審査特別委員会

平成29年3月13日～16日

平成29年度 予算原案可決

総額 89億2,941万円

一般会計 59億3,500万円
7 特別会計 19億9,919万円
病院事業会計 9億9,522万円

平成29年度標津町一般会計を含む9会計予算及び付託された4件の条例については、議長を除く9名の議員により予算審査特別委員会（大垣 勇委員長・吉田智副委員長）を設置し、3月13日から16日の4日間にわたって慎重に審議した結果、本会議において全会一致で可決しました。



吉田 智副委員長



大垣 勇委員長

予算審査報告

事件の番号	事 件 名
議案第2号	標津町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定
議案第4号	標津町児童発達支援事業所条例制定
議案第6号	標津町選挙ポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第11号	職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第23号	平成29年度標津町一般会計予算
議案第24号	平成29年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
議案第25号	平成29年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）予算
議案第26号	平成29年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）予算
議案第27号	平成29年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）予算
議案第28号	平成29年度標津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第29号	平成29年度標津町簡易水道特別会計予算
議案第30号	平成29年度標津町下水道特別会計予算
議案第31号	平成29年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算

人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ2017」の主要テーマ

“北海道 No.1 の子育て応援のまちを”

- 若い世代の結婚や出産等の理想・希望を叶える
- このまちで暮らしたい、暮らし続けたい希望を叶える
- 生産基盤を高め、地域資源を活かし、人の流れを変える



骨格予算

町長の改選期に、新規の政策的経費等の予算計上を避け、継続事業を主とした予算編成のこと。

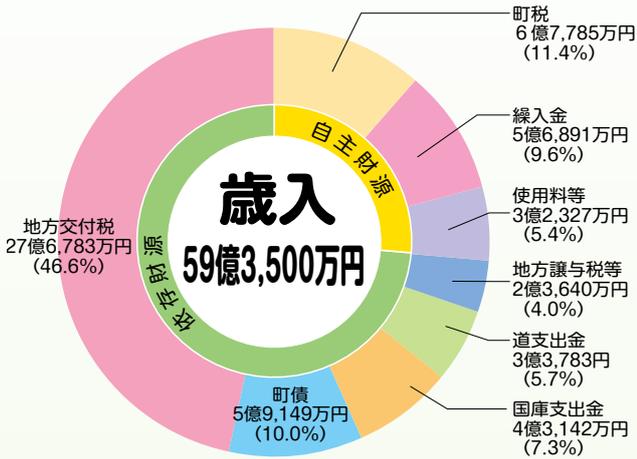
対前年当初比
9.6%減

59億3,500万円

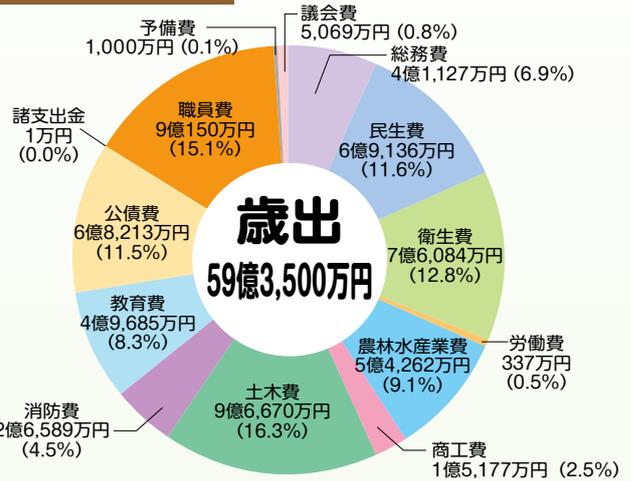
でスタート

～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの実践～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 15億7,003万円 (26.5%)

※依存財源 43億6,497万円 (73.5%)

町債 = 借金

公債費 = 返済金

各会計予算額

会計区分		平成29年度	平成28年度	対前年度比較 (%)
一般会計		59億3,500万円	65億6,400万円	▲ 9.6
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8億8,597万円	8億6,991万円	1.8
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億2,606万円	4億3,959万円	▲ 3.1
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	3,001万円	3,271万円	▲ 8.3
	後期高齢者医療特別会計	1億1,502万円	1億1,577万円	▲ 0.6
	簡易水道特別会計	2億1,255万円	1億9,290万円	10.2
	下水道特別会計	3億710万円	3億1,028万円	▲ 1.0
	金山地域休養施設等特別会計	2,248万円	2,440万円	▲ 7.9
	特別会計合計	19億9,919万円	19億8,556万円	0.7
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	8億9,050万円	8億3,412万円	6.8
	収益的収支	8億9,050万円	8億3,412万円	6.8
	資本的収支	1億472万円	9,810万円	6.7
企業会計合計		9億9,522万円	9億3,222万円	6.8
総計		89億2,941万円	94億8,178万円	▲ 5.8

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

町内行政視察研修

平成29年3月16日

標津町議会 全員協議会

標津こども園

建築工事内容

- 用途：幼保連携型認定こども園(あおぞら)、児童発達支援事業所(くれよんハウス)、親子交流館
- 構造：木造平屋建て
- 工法：*1木質二方向ラーメン構造「サミットHR工法」
- 敷地面積：15,724.00㎡ ●建築面積：1,625.73㎡
- 延床面積：1,496.06㎡ (ほか物置 45.36㎡)
- 木材使用量：170.6㎡ (構造体部分)



標津こども園外観



境課長より説明を受ける議員

3月16日、4月開園予定の「標津こども園」の現地視察研修を行った。
*1「サミットHR工法」により、広い間口と空間が確保され、道産力ラマツ材(半分弱が標津町・中標津町産)をふんだんに用い、温かい雰囲気を出している。当園より、*2「ひよこ」が成長し、「あおぞら」を力強く飛翔する事を期待する。

*2 当園の乳児室・ほふく(葡萄)室(0~1歳児)の名称が「ひよこ」

*1【木質二方向ラーメン構造「サミットHR工法」の特徴】

- 大規模木造建築工法の一つ。
- RC造・S造と同等の耐震性
- 筋交いや耐力壁が不要なため、広い間口と空間が可能
- 接合金具が外部に露出しないため、塩害対策に有効で意匠性も高い
- 地域産木材の活用が可能(道産材(北見市)にて加工)

陽光あふれ木の温もりが感じられる広々とした遊戯室



常任委員会の動き

町内行政視察研修

標津町は苦しい財政の中、教育予算だけは減額されてないと言います。それは教育(人)こそが財産と考えているためです。学校は、その期待に応えた経営、運営を進めなければなりません」と教育の考えを述べた。



清潔感あふれるトイレ



1年生の給食風景

3月6日、標津町立標津小学校を視察した。飯田校長より『標津小学校学力向上の成果について』と題して校長が2年前に赴任してから、実践されている学力向上の方法について講話を受けた。その中で最後に「海、山、川、海の幸、山の幸。豊かな自然と産業の町・標津に「教育の町」を加えたい。なぜならば、未来を担う標津町民を育成する必要があるためです。人口減少が進む町を存続するためには、町民が主体的に活躍する社会にしなければなりません。そのためには、教育の果たす役割が大変重要になります。

文教

福祉

建設

議員の出欠状況

出席……○ 欠席……×
〔 〕の委員は複数所属

【定例会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H28.6.21	第2回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.9.13	第3回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.12.14	第4回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.9	第1回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.10		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.16		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H28.5.16	第3回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.7.8	第4回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.9.29	第5回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.1.17	第1回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×

【総務経済常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	金田	木下	高橋	石橋	吉田
H28.4.22	○	×	○	○	○	○	○
H28.5.19	○	×	○	○	○	○	○
H28.6.14	○	×	○	○	○	○	○
H28.7.15	○	×	○	○	○	○	○
H28.8.25	○	×	○	○	○	○	○
H28.9.6	○	×	○	○	○	○	○
H28.10.28	○	×	○	○	○	○	○
H28.11.24	○	×	○	○	○	○	○
H28.12.7	○	×	○	○	○	○	○
H29.1.17	○	×	○	○	○	○	○
H29.2.24	○	×	○	○	○	○	○
H29.3.17	○	×	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	金田	小川	高橋	大垣	南
H28.6.14	○	×	○	○	○	○	○
H28.6.15	○	×	○	○	○	○	○
H28.7.12	○	×	○	○	○	○	○
H28.9.6	○	×	○	○	○	○	○
H28.10.31	○	×	○	○	○	○	○
H28.11.21	○	×	○	○	○	○	○
H28.12.7	○	×	×	○	○	○	○
H29.2.24	○	×	○	○	○	○	○
H29.3.6	○	×	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	大垣
H28.4.14	○	×	○	○	○
H28.4.21	○	×	○	○	○
H28.6.21	○	×	○	○	○
H28.7.15	○	×	○	○	○
H28.7.21	○	×	○	○	○
H28.9.13	○	×	○	○	○
H28.10.14	○	×	○	○	○
H28.10.21	○	×	○	○	○
H28.12.14	○	×	○	○	○
H29.1.17	○	×	○	○	○
H29.1.24	○	×	○	○	○
H29.3.10	○	×	○	○	○

【議会運営委員会】委員5人

年月日	氏名	吉田	南	小川	大垣	木下
H28.6.14	○	○	○	○	○	○
H28.9.6	○	○	○	○	○	○
H28.12.7	○	○	×	○	○	○
H28.12.14	○	○	○	○	○	○
H29.3.2	○	○	○	○	○	○
H29.3.9	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	南	石橋	木下	高橋	小川	吉田	大垣
H29.3.9	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.13	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.14	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.16	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】委員8人

年月日	氏名	山崎	金田	南	大垣	木下	小川	吉田	高橋
H28.10.17	○	×	○	○	○	○	○	○	○
H28.10.18	○	×	○	○	○	○	○	○	○
H28.10.24	○	×	○	×	○	○	○	○	○

【合同常任委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川
H28.6.14	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.9.6	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.12.7	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
H29.2.24	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【道の駅設置に関する調査検討特別委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	大垣	石橋	木下	小川	南	高橋
H28.4.15	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.6.15	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.7.8	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.7.22	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.8.17	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【全員協議会】議員10人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H28.6.14	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.6.15	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.6.21	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.6.28	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.9.13	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.3.16	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

寄稿



「85-7776」とは

標津町社会福祉協議会

会長 渡辺 好之

終つひの住み家ときめ、標津町の住民となり11年目を迎えています。私たち高齢者の願いは、「この町に住んでいて良かった」と思うことと、周りの人々に「有り難うございます」と言える生き方です。同時に、そのように言い合える町であり、町民でありたいと考えています。

福祉の原点を「ひとと一人では生きていけない」お互いに「助け合い支えあつていくこと」、そして「ありがとう」と言い合える町を目指し、会長職7年目を迎えています。今年度は、今までの活動プラス、次の「三つの願い」をもって活動したいと考えています。

行政等では対応できない小さな悩み事に対して手を差し伸べようと、昨年度「地域福祉計画推進委員会」を立ち上げました。その委員会の最初の仕事として「あんしんサポートセンター」をひまわり内に置き

12月12日（イッチ2、イッチ2）にスタートしました。そのセンターの電話番号が85局の7776番です。

どんな小さな悩み事でも、85局の7776番「あんしんサポートセンター」へお電話下さい。できるだけ早めの対応を考えています。「札幌の息子との生活を考えていましたが、少し待つことにしました」、との女性高齢者の声。サポートも「やりがいを感じた」と

の声もありました。どちらにも笑顔のある姿に感動している日々です。

『三つの願い』の一つ目は、福祉の願いである「助け合い・支え合い」の実現に、あせらず、「コツコツと地道な活動を継続するつもりです」。

二つ目の願いは、市街地で、幼児から子ども、親子、そして高齢者が「いつでも・どこでも・だれでも」集まれる「場所」。出会の場、ふれあいの場、おしゃべりの場、食事の場、孫とくつろげる場として気楽にふらつと立ち寄れる場を考えています。何とか今年度中に実現したいものです。三つめは、町民のアン

ケートの中で特に要望が多かった足（移動手段）の課題については、推進委員会で部会をもうけ対応策を考えている最中です。

住みよい町・標津町のため、行政、町内会、民生委員、社会福祉協議会の四者の連携なくして願いの実現は不可能です。

微力ながら、住みよい町づくりを私の最後の仕事と考え、各議員の方々も含めて町民一人ひとりのご支援ご協力をいただきながら、努力していきたいと考えておりますので、ご指導ご助言をよろしくお願いいたします。



本号より、寄稿者の肖像写真を掲載致します。

編集室



新人議員として広報特別委員に就き「しべつ議会だより」発行に携わつて、折返し点を迎えました。

今まで編集という作業に馴れていない事もあり、他の委員にお世話のかけ通しの気がします。

新年度に入り、気分を新たに町民の皆様により分かりやすい議会だよりの紙面作りに努力いたします。

昨今の明るいニュースを。3月末に標津高校吹奏楽部が第38回全日本リコーダーコンテストで金賞受賞団体の中から、特に優れた団体に贈られる花村賞に輝きました。

不断の努力に拍手を。

(山崎 英司)

大垣 勇智 委員 山崎 英司 委員
 長 吉田 委員 山崎 英司 委員
 副 委員 山崎 英司 委員
 広報特別委員会 委員 山崎 英司 委員
 議長 田中 孝幸